

北海道研会報

北海道道德教育研究会

第 166 号

発行所：北海道道德教育研究会
事務局：〒064-0951
札幌市中央区宮の森 1 条 1 6 丁目 5 - 1
札幌市立宮の森中学校
TEL 011-612-1147 FAX 011-615-6859
発行人：荒井 亮子
編集人：荒川 芳央

胆振・伊達大会、オンライン・HP 開催 成果を根室・中標津大会につなげる

第 5 6 回北海道道德教育研究大会胆振・伊達大会
大会長 荒井 亮子
(札幌市立琴似小学校長)

昨年度に引き続き全道各地から参集して行う研究大会の開催が難しい中、コロナ禍においても道德教育への学びを止めないという思いで、HP 上の研究紀要公開とオンラインによる開閉会行事、記念講演にて第 5 6 回北海道道德教育研究会胆振・伊達大会を開催いたしました。オンラインにて全道各地から多くの参加をいただき、大きな成果を得て盛会に終えることができました。札幌大会以来、2 年ぶりに研究大会を開催できましたことは大きな喜びです。御参加いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

また、今研究大会開催に当たり、御支援・御協力をいただきました各教育関係機関及び授業担当校の伊達市立伊達小学校吉川修一校長先生、伊達市立伊達中学校立花和実校長先生、伊達市立大滝徳舜警学校横山康彦校長先生をはじめ教職員、関係者の皆様、準備・運営に御尽力いただきました胆振管内道德教育研究会の皆様には、あらためて心より御礼申し上げます。

本年度の胆振・伊達大会については、当初は参集開催で、伊達市立伊達小学校、伊達市立伊達中学校、伊達市立大滝徳舜警学校の 3 校を会場に公開授業、授業分科会を行う予定で進めておりました。しかしながら参集開催は断念し、HP 上の研究紀要公開とオンラインに変更して開催することにいたしました。昨年度より公開授業に向けて研修を積み上げていただいております授業者、会場校の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。公開されております指導案をもとに各校で授業を行い、校内で研修を深めていただいたことを伺い大変嬉しく思っております。

本大会副主題「心に響く道德授業とその質を高めるための研修の在り方」をもとに、各指導案には「考え・議論する道德」を目指して様々な学習活動や教師の支援が工夫されております。また、指導者の価値観、児童観、教材観を明確にした授業づくりは、道德授業を行う上で最も大切であると感じました。義務教育学校での 9 年間の積み上げを大切にした道德教育、各授業での ICT の活用についてもこれからの教育に欠かせないものであり、大いに学ばせていただきました。

課題別分科会では、5 分科会であわせて 10 の提言がありました。この度の提言、それについて御助言いただきましたことを来年度の根室・中標津大会、そして再来年度の全小道・全中道研究大会函館大会へと積み上げて参りたいと思います。

記念講演では、秋田公立美術大学副学長 毛内嘉威先生にお越しいただき、『心に響く授業と指導と評価の一体化』の演題で御講演いただきました。子どもの道德的成長に期待し、魅力的な道德授業を積み上げていく大切さについて教えていただき、これからの道德教育について夢膨らみ意欲がわいてきました。誠にありがとうございました。

このように胆振・伊達大会は、コロナ禍という困難を乗り越え実施し、大変実り多い研究大会となりました。この成果を来年度の根室・中標津大会へとつなげ、令和 5 年度の全小道・全中道研究大会（全国大会）函館大会に向け、オール北海道で取り組んでいきましょう。今後も全道各支部の会員の皆様の御理解と御支援をよろしく願います。



第56回北海道道德教育研究大会 胆振・伊達大会を終えて

第56回北海道道德教育研究大会胆振・伊達大会
大会運営委員長 東峰 秀樹
(苫小牧市立泉野小学校長)

約60年に及ぶ北海道道德教育研究大会の歴史の中で、初めての誌上・オンライン開催となりました第56回大会が無事に閉幕いたしました。道德教育の充実と道德授業の質的向上を目指し、コロナ禍においても道德教育研究にかける熱い思いを原動力に前へ進み、次回大会への橋渡しとしての役割を全うできたことに安堵しております。

北海道研のホームページ上では、指導案及び提言要旨という形で全道各地区の優れた実践の数々が提示されました。日々教室で子どもたちとともに主体的、対話的で深い道德の学びを創造し、実践を重ねる多くの教員にとっての力強い一助となると同時に、ご講評からは多くの貴重な示唆をいただきました。

また、毛内嘉威氏のご講演を拝聴し、子どもたち一人一人に豊かな道德性を育む魅力溢れる道德授業を創りたいとの使命感にも似た熱い思いを多くの参加者の皆様と共有し、明日への活力をいただけたことは、本大会の大きな成果であると実感しております。

本研究大会の運営にご尽力いただきました皆様、全道各地よりご参加いただきました皆様々に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。次期根室大会が対面形式で開催され、道德研究に情熱を燃やし、道德授業をこよなく愛す多くの教員が一堂に会し、実り多き大会となりますことを祈念しております。



胆振・伊達大会記念講演会

演題：「心に響く授業と指導と評価の一体化」

秋田公立美術大学 副学長 毛内 嘉威 氏

秋田公立美術大学副学長 毛内 嘉威 氏により「心に響く授業と指導と評価の一体化」と題して講演が行われました。

講演では、主体的な学びをサポートする伴奏者としての役割や、発達段階や地域特性を踏まえた学びについて、我々が期待して子どもたちと関わることの重要性、個別最適な学びがまさに主体的な学びであること、多様な価値観を前提として授業構築の大切さについてお話されました。「道德的価値に向き合い、教材で考えさせ、認め合い、磨き合いながら議論する道德科の授業」を実現するための多くのご示唆をいただきました。

自身の授業を振り返り、明日の授業が楽しみになるような、大変実り多い講演となりました。



大会記録 (第2回理事会の様子含む)

